



閉会式後の選手団 写真 長野陸協

### レース展開

天候は、朝から突風が吹き、雪も舞う肌寒いコンディションの中、レースは、1区田畑陽菜(長野東高3年)が実業団や大学選手を終盤に突き放し区間賞を皮切りに、2区川上南海(長野東高2年)、3区原梨珠(赤穂中3年)がトップをキープ、2位兵庫との差は14秒、4区細田あい(エディオン)がさらに後続を引き離し、2位静岡との差を24秒広げた。5区今井玲那(長野東高2年)、6区窪田舞(城西大1年)と2位兵庫と18秒差で先頭をひた走ることができた。7区本田結彩(長野東高1年)では、初めて先頭を譲る展開となり、1位大阪と16秒差、8区青木咲瑛(三陽陸上クラブ2年)が1位兵庫と20秒差、2位大阪と15秒差と順位を落としながらも我慢の走りを見せた。9区アンカー村上愛華(東京メトロ)は、メダル圏内の3位を死守し、万感のフィニッシュを迎えることができた。

### お礼 団長 田澤 稔(常務理事・事務局長)

長野県女子初の第3位、メダルを獲得することができました。これも偏に、長野県知事阿部守一様はじめ大勢の県、県議会、県スポーツ協会、信濃毎日新聞社並びに信州駅伝サポート会の皆様方、そして、地元在京都長野県人会、近畿・広島信州県人会・名古屋長野県人会他多くの皆様方の厚いご支援の賜であり、心から御礼申し上げます。また、日頃から地域の小学生、中学生をご指導されるコーチや保護者をはじめご関係者の皆様のご指導ご支援により、当協会の普及強化の基盤があることに改めて感謝申し上げます。次は、長野県女子初の頂点を目標に関係者一同、心をひとつに取り組んでいく所存です。今後とも皆様のご支援ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日は、ありがとうございました。

### お礼 監督 横打 史雄(常務理事・長野東高校)

長野県女子初の3位入賞でメダルを獲得することができました。ありがとうございました。ただ、この大会に臨むにあたり、チームとして万全の状態を築くことができなかったことは事実です。その中でメダルを獲得できた要因をしっかりと分析し、受け止めて次につなげていくことが必要だと感じています。同時にこのチームの潜在能力に大きな期待を持つことができました。新たに定めた長野県女子初の頂点を目標に、引き続き着実な進歩を重ねていく所存です。大会参加にあたり、選手、スタッフの派遣にご協力いただきました中学生、高校、クラブチーム、大学、実業団それぞれの関係の皆様、また物心ともにご支援いただきました陸上競技協会関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。今後とも一層のお力添えをお願いし、お礼のご挨拶とさせていただきます。

選手 主将：細田あい		
区分	氏名	所属
一般	細田 あい	エディオン
一般	村上 愛華	東京メトロ
一般	名和 夏乃子	エディオン
一般	窪田 舞	城西大学1年
高校	田畑 陽菜	長野東高校3年
高校	川上 南海	長野東高校2年
高校	今井 玲那	長野東高校2年
高校	森田 華音	長野東高校2年
高校	本田 結彩	長野東高校1年
高校	待井 未里	長野東高校1年
中学	原 梨珠	赤穂中学校3年
中学	青木 咲瑛	三陽陸上クラブ2年
中学	田村 ここみ	三陽陸上クラブ2年
中学	小出澤恋実	安曇野AC3年
役職	氏名	所属等
団 長	田澤 稔	常務理事
副団長	丸山 健志	駅伝部長
監 督	横打 史雄	長野東高校
コーチ	富永 浩一	梓川中学校
コーチ	加藤 未有	サンアップル
コーチ	鳥羽 一彦	安曇野かけっこクラブ
コーチ	木下 純市	伊那東部中学校
コーチ	横地 京子	長野工業高校
コーチ	小林 季生	箕輪中学校
コーチ	渡辺 優樹	岡谷東部中学校
コーチ	芳川 千恵	高社小学校
コーチ	速渡 賀大	松本深志高校
トレーナー	窪田 勝	くぼた整骨院
トレーナー	野竹 康之	野竹接骨院
役員	百瀬 貴	専務理事
役員	北島 正孝	参与・前駅伝部長

# 萩原 清 会長 秩父宮章受章 祝賀会 NAA Athletics Awards 2025

国スポ男女総合6位、女子総合2位入賞 祝賀会  
皇后盃 第44回 全国女子駅伝 3位入賞 祝賀会



秩父宮章 萩原 清会長

名取 和訓 女子監督

中津 敦喜 男子監督

村上 愛華(東京メトロ)さん

写真 長野陸協

## 授与式次第

### 開式の辞(進行)

1. 主催者挨拶(萩原会長)
2. 日本陸連他受章者紹介
3. 県陸協栄章授与
4. 優秀競技者賞・奨励賞表彰
5. 受章者代表挨拶

### 閉式の辞(内山会長代行)

期 日 2026年2月11日(水)  
会 場 THE SAHOKUKAN HOTEL  
授与式 午前11時～  
祝賀会 午後12時30分～

## 祝賀会次第

### 開会の辞(進行)

1. 主催者挨拶 内山了治 会長代行
  2. 受章者紹介 藤井昭一 副会長
  3. 滋賀国スポ報告 中津 敦喜 監督
  4. 女子駅伝報告 田澤 稔 団長
  5. 祝 辞  
長野県知事 阿部守一様  
信濃毎日新聞社 代表取締役社長 小坂 壮太郎 様
  6. 花束贈呈 (謝辞) 萩原 清 会長
  7. 乾 杯  
信越放送(株) 取締役 中村 幸司 様  
… 祝 宴 テーブルスピーチ他 …
  8. 中締め  
京都長野県人会 副会長 村松 徹也 様
- 閉会の辞 小林 高茂 副会長





## お祝いのことば

長野県知事  
阿部 守一

このたび、萩原清長野陸上競技協会会長が「秩父宮章」を受章されましたことは、誠に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。

また、滋賀県で開催されました第79回国民スポーツ大会陸上競技において、男女総合6位、女子総合2位、というやまびこ国体以来の競技別での入賞という輝かしい成績を収め、第44回都道府県対抗女子駅伝競走大会では、堂々の3位入賞を果たし、初のメダル獲得という快挙を成し遂げられましたことにつきましても重ねてお祝い申し上げます。

このような輝かしい結果を得られたのは、選手の皆さまのたゆまぬ努力はもとより、貴会をはじめとする関係者の皆さまのご尽力の賜物であり、長野県陸上界の確かな進化と着実な強化の歩みを示し、多くの県民に大きな感動と誇りをもたらしてくださいました。

こうした長野県陸上界の発展には、このたび「秩父宮章」を受章された萩原清会長の長年にわたる卓越したご指導とご貢献が大きく寄与していることは言うまでもありません。改めて、そのご尽力に敬意を表するところであります。今回の成果は、本県スポーツの未来をより力強く切り拓く礎となるものです。2028年には、いよいよ信州やまなみ国スポが本県で開催されます。長野県陸上界のさらなる発展と、選手の皆様一人ひとりのご活躍を心から祈念申し上げます。



## お祝いの言葉

信濃毎日新聞社代表取締役社長  
小坂 壮太郎

「長野陸協アスレティックス・アワード2025」の開催を、心よりお慶び申し上げます。本表彰を受けられる選手、指導者・関係者の皆様に深く敬意を表します。

またこの度は、萩原清会長が日本陸上競技連盟の最高章である「秩父宮章」を受章されましたこと、誠にめでたうございます。長年にわたり長野県陸上界の発展に尽力されてきた萩原会長の功績が、日本陸連からも認められたことは、県民にとっても大きな誇りであります。

加えて、昨秋の滋賀国民スポーツ大会における男女総合6位、女子総合2位という「やまびこ国体」以来の快挙、さらには全国都道府県対抗女子駅伝での3位入賞と、長野県陸上界は2028年長野県での国民スポーツ大会開催を見据え、着実に結果を積み上げています。今後も選手、指導者、そして長野陸上競技協会の皆様の不断の努力で、長野県陸上界が躍進を続け、長野県で開催される国スポでの最高の結果につながることを期待しています。

スポーツは、地域に活力を生み、次代を担う子供たちに夢を与える力となります。信濃毎日新聞社は、これからも地域のスポーツ振興を支援し、皆様の活躍を全力で伝えてまいり所存です。

結びに、萩原会長の益々のご健勝と、長野陸上競技協会の更なる発展、そして本日お集まりの皆様のご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 2025年度 各栄章に輝いた皆様 ( )内は所属支部、敬称略

### 公益財団法人日本陸上競技連盟

- 秩父宮章 萩原 清(松本)
- 高校優秀指導者章 内堀 俊彦(佐久)
- 中学優秀指導者章 原 智恵(木曾)
- (上記三章は2024年度末に確定し、2025年に表彰された)
- 少年少女陸上競技指導者表彰 松村 覚(飯伊)

### 一般財団法人長野陸上競技協会

- 審判員功労章 百瀬 貴(塩尻)
- 細田 和生(上田)
- 白川 雅三(上田)
- 審判員功績章 五味 健志(諏訪)
- 矢澤 美代子(飯伊)
- 指導者功績章 林 努(飯伊)
- 篠原 夏季(諏訪)
- 武居 悠輔(諏訪)
- 下里 直弥(松本)
- 杉山 史良(松本)
- 牛久保 裕介(長野市)
- 中嶋 良太(長野市)

※特別賞並びに優秀競技者賞・勲功章、奨励賞につきましては、別紙配布資料をご高覧下さい。

### 文部科学大臣表彰

- 「生涯スポーツ功労者」 千代 馨脩(諏訪)
- 「生涯スポーツ優良団体」 安曇野支部

### 公益財団法人日本スポーツ協会

- 公認スポーツ指導者等表彰 山口 誠(上田)

### 公益財団法人長野県スポーツ協会

- 勲功章 南澤 明音(松本・松本土建)



## 秩父宮章 萩原 清 会長 陸上競技関係ご経歴

- 一般財団法人長野陸上競技協会 代表理事 会長 2016年11月～ 現在に至る
- 東海陸上競技協会 会長 2025年4月～ 現在に至る
- 東海陸上競技協会 副会長 2017年4月～ 2025年3月
- 長野陸上競技協会 功労章 2022年度
- 公益財団法人日本陸上競技連盟 公認審判員 2017年4月～ 現在に至る
- 長野マラソン スターター 2017年4月～ (写真は2024年4月21日 第26回大会)
- 【競技歴】松本深志高校2年次  
1967年 第42回埼玉国体 少年男子やり投 4位入賞 59m40

## 滋賀国スポ 種目別天皇杯(男女総合)得点6位入賞:1978(S53)やまびこ国体以来47年ぶり 皇后杯(女子総合)得点2位入賞:2016年以来9年ぶり (結果詳細は会報185号P.7～9)

常務理事・普及強化委員長 横打 史雄 監督 中津 敦喜、名取 和訓

おかげさまで、種目別天皇杯得点第6位(1978年長野国体2位以来)、皇后杯得点第2位(2016年岩手国体6位以来)、入賞数20と目標を上回る成果を収めました。特に成年女子400mハードル優勝をはじめ、多くの選手が入賞や自己記録を更新し「チーム長野」が輝く場となりました。これもひとえに関係各校・各企業、協会会員の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今後も2026青森国スポ、2027宮崎国スポ、そして2028信州やまなみ国スポに向けて、目標が達成されますよう更なる強化に努めてまいります。今後とも一層のお力添えをお願い申し上げます。

※得点方法:1位8点、2位7点・・・8位1点。同順位の場合は得点を合計し同順位人数で除し算出。8位が3名の場合は一人0.33点、7位が2名の場合は8位得点を合わせ一人1.5点となる。

	男女総合得点	女子得点
1位	兵庫 122	兵庫 68
2位	京都 110	長野 64.33
3位	福岡 103	神奈川 63
4位	大阪 96.5	大阪 61
5位	北海道 94	愛知 60.33
6位	長野 93.33	京都 59
7位	神奈川 92.5	福岡 56
8位	東京 92.33	北海道 51

(いずれも参加点10点を含む)

## 女子駅伝 悲願のメダル獲得 皇后盃第44回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

全国都道府県対抗駅伝は男子より13年早く1983年に、女子長距離種目の競技力向上を主題として始まった。長野県チームは17位からスタートし10回大会には15位まで順位を押し上げたが、その後低迷が続いた。25回大会から14、15回に続き監督再登板の玉城良二先生(当時長野東高校教員)が、自校の躍進とともにこの駅伝でも強化策を練り27回大会で念願の初入賞(8位)を果たした。社会人が不在で中学生から大学生で編成する若いチームとして脚光を浴び活躍したが、最終10kmの9区で逆転され、入賞やメダルにはもう一歩という展開が多かった。2021年(39回大会中止)に監督を引き継いだ横打史雄先生も同様のパターンで苦戦したが、社会人競技者の成長と共に今回悲願を達成した。



### 【優秀選手】 田畑 陽菜(長野：長野東高校)

区間(距離km)	1区(6.0)	2区(4.0)	3区(3.0)	4区(4.0)	5区(4.1075)	6区(4.0875)	7区(4.0)	8区(3.0)	9区(10.0)
選手名	田畑 陽菜	川上 南海	原 梨珠	細田 あい	今井 玲那	窪田 舞	本田 結彩	青木 紗瑛	村上 愛華
チーム順位・記録	1 19:28	1 31:59	1 41:34	1 54:46	1 1:08:30	1 1:21:40	2 1:34:40	3 1:45:31	3 2:19:12
区間順位・記録	1 19:28	2 12:31	9 9:35	6 13:12	7 13:44	7 13:10	9 13:00	21 10:51	19 33:41
区間最高記録	19:28	12:14	9:20	12:43	13:11	12:54	12:25	10:10	31:57
Top通過チーム同記録	長野 19:28	長野 31:59	長野 41:34	長野 54:46	長野 1:08:30	長野 1:21:40	大阪 1:34:24	兵庫 1:45:11	大阪 2:18:19